



## ◀「おりゃー」と全力疾走！

5月3日、市重要無形民俗文化財である真鍋島伝統の「走り御輿」が行われました。

八幡神社でおはらいを受けた3台のみこしは、鮮やかな大漁旗で飾られた漁船で本浦港へ。各みこし8人の担ぎ手により、人だかりのできた路地や浜の大通りを「おりゃー」という掛け声とともに全速力で駆け抜けました。

ツアー客など800人近くの観衆からは大きな歓声と拍手が沸き起こっていました。



## ▶代表チームを激励

大井グラウンドでは5月14日、第53回岡山県消防操法訓練大会に笠岡市代表として出場する大井分団の激励会が行われました。

分団員の応援を受けながら、大会に備えて半年前から練習を重ねてきた代表選手を、高木市長が「ベストの体調で本番に臨んでほしい」と激励しました。

チームは21日に開かれた県大会で小型ポンプの部に出場し、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮しました。



## ◀今年もやって来ました

5月9日、周囲を山に囲まれた岐阜市から、中学校3年生164人が白石島に修学旅行にやって来ました。

5月とは思えない真夏のような青空の下、生徒たちはTシャツと半ズボン姿になって、シーカヤック、ウインドサーフィンや底引き網などを体験。まだ冷たい海水にずぶぬれになりながら、「冷たいけど気持ちいい」「海がきれい」と歓声をあげ、白石島の自然を満喫しました。



## ▶病院に響く 天使？の歌声

5月13日、市民病院では、「病院の日・看護の日」イベントが開かれました。

市民の皆さんから募った川柳や絵画の展示のほか、リハビリのミニ講座や、普段の生活で直面することが多い「やけど」や「虫さされ」などの正しい応急手当の方法を職員が寸劇で紹介。

みたけ少年少女合唱団のハーマニーに続いて、看護師の急造コーラス隊による天使の歌声も披露され、患者や家族の皆さんは、病院ボランティアなど来場者とともに楽しい一時を過ごしました。

